

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	線維柱帯切開術後の隅角変化
研究責任者	濱中輝彦
研究機関名	日本赤十字社医療センター 眼科
研究目的と意義	緑内障における原因は眼圧が上昇して視神経障害が生じ、その結果視野が欠けて最終的に失明する病気です。現在有効な進行予防手段は眼圧を下げることです。それにはまず点眼治療を行います。眼圧コントロールが不十分な場合は手術が必要になります。中でも線維柱帯切開術は有効な手術方法として知られていますが、長期的には効果が消失することが時にあり、更に効果が期待される線維柱帯切開術を施行します。この場合には、その切開組織から以前に施工された線維柱帯切開術がどのように効果がなくなったのかを病理学的に調べるのが可能です。 そこで今回は緑内障患者さんの線維柱帯切開術で得られた標本の線維柱帯・シュレム管を含む隅角組織を病理学的に検索して、以前に受けた線維柱帯切開術の眼圧下降のメカニズムと術後の眼圧コントロール悪化のメカニズムを解明することにより、線維柱帯術の今後の改良点について検討を行うことを目的とします。
研究方法	1997年3月～2020.年2月目まで当センターで緑内障手術を施行された患者さんを対象に隅角組織を病理組織学的、免疫組織学的に研究を行います。上記に該当する患者さんで研究に参加を希望されない方はご連絡下さい。参加を希望されなくても不利益はありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 眼科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 濱中輝彦 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604